

保健センター一年報 No.2



2017

和歌山大学保健センター

年 報 目 次

保健センター年報No.2（2017）発刊にあたって センター長 別所寛人	1
I. 報 告	
メンタルヘルス研修旅行2016 ～ピア・サポートを学ぶ～（平成29年3月3日、4日）	2
II. 業 績	4
III. 年間業務内容	5
IV. 健康診断実施状況	
1) 学生定期健康診断	9
2) 教職員定期健康診断	11
3) 特定有害業務検診	13
4) VDT検診	14
V. 利用状況	
1) 身体保健部門	15
2) 精神保健部門	16
VI. スタッフ名簿・スタッフの声	
1) スタッフ名簿	17
2) スタッフの声	18
VII. 規 則	21



保健センター年報No.2 (2017) 発刊にあたって



保健センター・センター長
別 所 寛 人

平成24年4月1日に和歌山大学保健センター長に就任して5年が経過しました。就任時に保健センター運営の基本理念を「学生・教職員の皆さんに健康で安全な大学生活、職場環境を提供すること」とし、基本理念に基づく運営方針を、1. 学生、教職員への健康管理の実施と健康情報の提供を行う、2. 精神的支援（メンタルサポート）を必要とする学生、教職員に対する支援体制を充実する、3. 保健センターで集積した情報を社会に発信する、の3点とし、上記の基本理念と運営方針のもと、スタッフの皆さんとともに本センターの運営を行い、一定の成果が得られたと思っています。

保健センター年報は上記の運営方針3.に基づいて発行してきたもので、スタッフ皆さんの御協力のお陰で通算3号目を発刊することができました。お忙しいなか、執筆をいただいた皆様に感謝いたします。

保健センターの具体的な業務は、運営方針3.「保健センターで集積した情報を社会に発信する」以外に、運営方針1.「学生、教職員への健康管理の実施と健康情報の提供を行う」に基づく学校医業務と産業医業務、運営方針2.「精神的支援（メンタルサポート）を必要とする学生、教職員に対する支援体制を充実する」に基づく「キャンパスデイケアの運営」「ストレスチェックの実施と結果に基づく面接」などがあります。

運営方針1.の学校医業務で最も重要なものは、毎年4月に実施する学生定期健康診断（学生健診）であり、これまでに受診率の向上を目指し様々な対策（健診結果集約システムと健診予約システムの導入、健診結果の自動発行機による発行、留学生に対する健診の完全実施、など）を行ってきた結果、和歌山大学全学生の学生健診受診率は平成25年75.7%から平成29年81.1%となり、大幅な改善がみられています。さらに、平成29年の1年生受診率については96.8%となり、学生健診における第一目標とした1年生受診率100%は達成目前となっています。今後は和歌山大学全学生のさらなる受診率向上のため、2、3、4年生の受診率向上対策を行っていきたいと考えています。

また、産業医業務では毎年9月～10月に実施する教職員定期健康診断（教職員健診）があり、受診率は毎年75～80%程度でしたが、健診情報の周知や未受診者に対する受診勧告、等の効果により平成28年には84.8%に上昇しました。今後もさらなる受診率向上のための対策を実施していきたいと考えています。

一方、2.「精神的支援（メンタルサポート）を必要とする学生、教職員に対する支援体制を充実する」に基づく「キャンパスデイケアの運営」に関しては、平成26年に設置された障がい学生支援室（キャンパスライフサポートルーム）と協力することにより、メンタルサポートを必要とする学生の早期発見が可能となっています。また、平成28年に行った「ストレスチェック」を実施した結果、高ストレス群と判定され、面接を希望した教職員に対しては精神科医による面接を実施しています。今後も「キャンパスデイケア」や「ストレスチェック」を活用し、学生と教職員に対する有効なメンタルサポートを行っていきたいと考えています。

保健センターの最も重要なミッションは学生、教職員の皆さんの健康維持・増進です。そのミッションを達成するための業務改革、改善を今後も進めていく所存です。関係者の皆様方の御協力を宜しくお願い申し上げます。

I. 報 告

メンタルヘルス研修旅行2016 ～ピア・サポートを学ぶ～

保健センターにおけるキャンパスダイケアのプログラムの1つとして、平成29年3月3日、4日とキャンパスライフサポートルームと共同で、メンタルヘルス研修旅行を実施した。教職員5名、学生8名が参加した。

【1】日程・スケジュール

3月3日（金）

- 9:30 和歌山大学集合・出発～JR和歌山駅～田辺～白浜へ
- 12:00 とれとれ市場（白浜町）にて昼食・休憩、移動
- 13:00 秋津野ガルテン到着
- 13:30～17:20 研修（セッション①②③）
- 17:20～18:30 自由時間、入浴
- 18:30～20:00 夕食及び交流会

3月4日（土）

- 8:00 朝食
- 9:00～10:30 研修（セッション④）
- 10:30 秋津野ガルテン出発～白浜
研修（三段壁、セッション⑤）
- 12:00～13:00 昼食
- 13:00～14:00 白浜観光 千畳敷、円月島等
- 14:00 白浜出発～JR和歌山駅～和歌山大学到着・解散

【2】研修内容

PCAグループ体験を5セッションに分けて実施した。

※PCAとは・・・Person Centered Approachの略で、自分を集団に適応させようとするのではなく、今ある自分を肯定しながら仲間と相互理解していくことを目的としたアプローチ法で、「自分らしさの肯定」「メンバー相互のつながり」「お互いの相違の尊重」等の効果が得られると言われている。

- ・セッション①（60分程度） オリエンテーション・リラクゼーション等
参加者各個人の「初期不安の軽減」を目的にオリエンテーションや、アイスブレイキング（絵や文字を使った伝言ゲーム）、リラクゼーションとして瞑想体験を全体で実施した。
- ・セッション②（60分程度） グループ分け・81マス作文
男女2名ずつにファシリテーター1名（職員）の1グループ5名としたグループを構成した。そのグループ内で各個人が「比較的安全なレベルの自己開示」や「グループの凝集性の促進」を目的に、一人一文字を順に書いていく81マス作文を実施した。
- ・セッション③（90分程度） コラージュ法
「比較的安全なレベルの自己開示」や「グループの凝集性の促進」を目的に、雑誌や広告、写真等の切り抜きを使用し、それらを画用紙に貼って一つの作品を作るコラージュ法を実施した。作成後はグループ内で発表や意見交換を行った。

- ・セッション④（90分程度） 未来の自分ワーク
「グループの凝集性の促進」や「自発性の発揮」を目的に、メンバー各個人が未来の自分、夢を語り、その内容に対して他のメンバーがアドバイスを贈る、未来の自分ワークを実施した。
- ・セッション⑤（60分程度） 散策
「グループの凝集性の促進」や「自発性の発揮」を目的に、三段壁周辺の散策をグループ毎に実施した。

【3】参加者感想

- ・グループ活動を通して、自分の意見をよく言えたと思う。部活の飲み会では、緊張とストレスしかないけど、ご飯の時間でも楽しい時間を過ごせた。今回参加して本当に良かったと思いました。
- ・短期間でしたが、自分を見つめ直し、整理するきっかけと、他人と自分との比較が実践できました。大変良い経験になりました。
- ・グループ活動は苦手な方ですが、顔見知りが多いこともあってすごく楽に取り組めたと思います。自分の事や将来についてあまり考えていなかったなので、もう少し具体的なイメージを持ちたいと思いました。



Ⅱ. 業 績

平成27年度

講 演

1. 別所寛人：高齢者の不定愁訴に対する漢方治療
和歌山BPSDサポート講演会
2016年1月28日 和歌山市（県民交流プラザ 和歌山ビッグ愛）
2. 山本朗：発達障害のある方の支援と対応
和歌山県母と子の健康づくり運動協議会伊都支部研修会
2016年1月29日 九度山町（ふるさとセンター）

平成28年度

講 演

1. 別所寛人：東洋医学と西洋医学の長所に基づく統合医療について
全国大学保健管理協会近畿地方部会 保健師・看護師班研究集会
2016年9月15日 和歌山市（和歌山県立医科大学 高度医療人育成センター）

学会発表

1. 西谷崇、山本朗、池田温子、別所寛人：ストレスチェックにおけるwebを活用したシステムの導入について
第54回全国大学保健管理研究集会 2016年10月5-6日 大阪市（大阪国際会議場）
2. 森麻友子、山本朗、西谷崇、池田温子、別所寛人：ASD的傾向と援助要請行動の関連～「ASD 困り感質問紙」を活用して～
第54回全国大学保健管理研究集会 2016年10月5-6日 大阪市（大阪国際会議場）
3. 西谷崇、山本朗、池田温子、別所寛人：厚労省版ソフトを活用した学内ストレスチェックシステムの構築について
第38回全国大学メンタルヘルス学会総会 2016年12月9-11日 東京都千代田区（一橋大学一橋講堂）

論 文

1. 川乗賀也，目良宣子，西谷崇，山本朗：地域におけるひきこもり支援の力の向上に関する一考察～岩手県A地域のひきこもり支援機関とスタッフへのアンケート調査を通して～精神医学59 (2), 153-157, 2017

Ⅲ. 年間業務内容

平成27年度（2015年度）保健センター業務内容

4月	新入生ガイダンス・留学生対象ガイダンス
	健診システム設営
	定期健康診断8日間（身体計測、X線間接撮影、視力検査、尿検査、血圧測定、内科診）
	柔道部検診（4/16）
5月	空手道部検診（5/11）
	追加検査（心電図、血液検査、尿検査）及び結果説明
	就職用健康診断証明書交付開始
	教育実習用健康診断書交付 ・ 介護体験実習用診断書作成 ・ 結核現状調査報告
6月	前期特定有害業務検診（6/1.2）（教職員、学部生、院生）・給食従事者検診
	システム工学部編入学推薦選抜救急待機（6/5）
	介護体験実習用診断書交付（6/8）
	監事監査（6/11）
	追加検査結果説明（6/23）
7月	システム工学部編入学入試救急待機（7/2）
	柔道部検診（7/9）
	オープンキャンパス救急待機（7/19）
	年報作成準備
	空手道部検診（7/23）
	全国大学保健管理協会近畿地方部会研究集会・総会（7/30 神戸常盤大学）
8月	経済学部3年次編入（推薦）入試救急待機（8/1）
	保健センター企画運営委員会（8/6）
	近国体弓道競技救急担当（8/26.27.28.29）
9月	シス工博士課程入試救急待機（9/3.4.5）
	第53回全国大学保健管理研究集会（9/9.10 岩手大学）
	大学院教育学研究科入試救急待機（9/12）
	経済学部編入入試救急待機（9/16.17）
	全国大学保健管理協会近畿地方部会保健師・看護師班研究集会（9/17 神戸常盤大学）
	経済大学院修士入試救急待機（9/18）
	観光学部社会人AO2次入試救急待機（9/20）
10月	サイクリング部検診（10/5.15）
	教職員定期健康診断及び胸部X線直接撮影（10/13.14）PSA検査
	観光学部第1回研究科入試救急待機（10/17）
	附属特別支援学校教職員定期健康診断（10/19）PSA検査追加

	留学生健康診断 (10/22)
	ホームカミングデー救急待機 (10/24)
	空手道部検診 (10/26)
	附属小・中学校教職員定期健康診断 (10/27) PSA検査追加
11月	教職員乳がん検診 (11/2.4.5)
	教職員定期健康診断結果説明
	教職員VDT検診 (11/19)
	大学祭救急待機(11/21.22)
	教育学部地域推薦入試救急待機 (11/21.22)
	教職員対象インフルエンザ予防接種 (11/26.27)
	経済学部推薦入試救急待機 (11/28)
12月	後期特定有害業務検診 (11/30・12/1 教職員、学部生、院生)
	帰国子女社会人入試救急待機 (12/3)
	システム工学研究科博士前期特別選抜救急待機 (12/5)
	観光学部推薦入試・社会人特別入試救急待機 (12/5.6)
	教職員対象インフルエンザ予防接種予備日 (12/7)
	近畿地方部会阪奈和地区研修会 (12/8 大阪歯科大学)
	第37回全国大学メンタルヘルス研究会 (12/10.11 九州大学)
	特定有害業務検診結果報告書提出
	教職員健診結果説明
	附属小・中学校教職員定期健康診断結果説明・附属学校給食作業従事者検診 (12/10)
	附属特別支援学校教職員定期健康診断結果説明・附属学校給食作業従事者検診 (12/14)
	教職員健康診断結果報告書提出
1月	大学センター入試救急待機 (1/16.17)
	システム工学部推薦入試救急待機 (1/29)
	システム工学部推薦入試救急待機 ・教育学部推薦入試救急待機 (1/30)
2月	私費外国人留学生特別入試救急待機 (2/19)
	観光学研究科入試救急待機 (2/17)
	前期日程入試救急待機 (2/25)
3月	後期日程入試救急待機 (3/12)
	フィジカルヘルスフォーラム「保健管理センターの日常業務を支援する」(北陸先端科学技術大学院大学) (3/17.18)
	ストレスチェック制度準備
	新入生保健調査票整理
	ガイダンス資料袋詰め

平成28年度（2016年度）保健センター業務内容

4月	新入生ガイダンス・留学生対象ガイダンス
	健診システム設営
	定期健康診断8日間（身体計測、X線間接撮影、視力検査、尿検査、血圧測定、内科診）
	柔道部検診（4/18）
	ストレスチェック準備
	空手道部検診(4/18)
5月	空手道部検診(5/9)
	追加検査（心電図、血液検査、尿検査）（5/18.19）
	就職用健康診断証明書交付開始
	教育実習用健康診断証明書交付 ・ 介護体験実習用診断証明書作成 ・ 結核現状調査報告
	ストレスチェック準備
	追加検査結果説明（5/26）
	前期特定有害業務検診（教職員、学部生、院生）・給食従事者検診（5/30.31）
	介護体験実習用診断書交付（5/31）
6月	システム工学部編入学推薦選抜救急待機（6/3）
	全国大学保健管理協会近畿地方部会保健師・看護師班幹事校会議（6/10 和歌山県立医科大学）
	特定有害業務検診結果本人宛通知
	ストレスチェック実施（6/13～6/24）
	ストレスチェック回答用紙打ち出し、整理（6/27.28.29.30）
7月	システム工学部編入学入試救急待機（7/7）
	ストレスチェック結果本人宛通知（7/11）
	高ストレス群面接希望予約（7/12～7/26）
	オープンキャンパス救急待機（7/17）
	経済学部編入学推薦入試救急待機（7/23）
	空手道部検診（7/25）
	全国大学保健管理協会近畿地方部会研究集会・総会（7/28 和歌山県立医科大学）
8月	保健センター企画運営委員会（8/4）
9月	空手道部検診（9/8）
	シス工前期博士課程入試救急待機（9/1.2.3）
	大学院教育学研究科入試救急待機（9/12）
	全国大学保健管理協会近畿地方部会保健師・看護師班研究集会（9/15 和歌山県立医科大学）
	経済学部編入入試救急待機（9/16.17）
	経済大学院修士入試救急待機（9/18）
	観光学部社会人AO2次入試救急待機（9/20）
10月	第54回全国大学保健管理研究集会（10/5.6 大阪大学）
	空手道部検診（10/11）

	教職員定期健康診断及び胸部X線直接撮影 (10/11.12) PSA検査
	観光学部第1回研究科入試救急待機 (10/15)
	附属特別支援学校教職員定期健康診断 (10/17) PSA検査追加
	留学生健康診断 (10/18)
	ホームカミングデー救急待機 (10/22)
	附属小・中学校教職員定期健康診断 (10/25) PSA検査追加
11月	教職員乳がん検診 (11/7.9)
	教職員定期健康診断結果説明
	教職員VDT検診 (11/17)
	大学祭救急待機(11/19.20)
	教育学部地域推薦入試救急待機 (11/26.27)
	後期特定有害業務検診 (11/28.29 教職員、学部生、院生)
12月	教職員対象インフルエンザ予防接種 (12/1.2)
	経済学部推薦入試救急待機 (12/3)
	帰国子女社会人入試救急待機 (12/3)
	システム工学研究科博士前期特別選抜救急待機 (12/5)
	近畿地方部会阪奈和地区研修会 (12/6 大谷大学)
	第38回全国大学メンタルヘルス学会総会 (12/9.10.11 一橋大学)
	観光学部推薦入試・社会人特別入試救急待機 (12/10.11)
	附属小・中学校教職員定期健康診断結果説明・附属学校給食作業従事者検診 (12/13)
	安全衛生講習会「ストレスチェックとメンタルヘルスケア」山本朗准教授 (12/15)
	教職員対象インフルエンザ予防接種予備日 (12/15)
	特定有害業務検診結果報告書提出
	附属特別支援学校教職員定期健康診断結果説明・附属学校給食作業従事者検診 (12/16)
	教職員健康診断結果報告書提出
1月	大学センター入試救急待機 (1/14.15)
	システム工学部推薦入試救急待機 (1/27)
	システム工学部推薦入試救急待機 ・教育学部推薦入試救急待機 (1/28)
2月	私費外国人留学生特別入試救急待機 (2/17)
	観光学研究科入試救急待機 (2/17)
	前期日程救急待機 (2/25)
3月	メンタルヘルス研修旅行 (3/3.4 秋津野ガルテン)
	後期入試救急待機 (3/12)
	卒業予定者個人票整理
	新入生保健調査票整理
	ガイダンス資料袋詰め
	ストレスチェック事後処理

IV. 健康診断実施状況

1) 学生定期健康診断

平成27年度（2015年度）

学部	学 年	学 生 数		受 診 数		受 診 率		X線受検数		X線受検率	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
教 育 学 部	1 回 生	97	71	97	71	100.0	100.0	94	71	96.9	100.0
	2 回 生	101	90	97	88	96.0	97.8	95	81	94.1	90.0
	3 回 生	109	83	101	78	92.7	94.0	98	77	89.9	92.8
	4 回 生	114	88	105	85	92.1	96.6	97	74	85.1	84.1
	留 年 生	27	6	8	1	29.6	16.7	4	1	14.8	16.7
	大学院生	28	41	25	32	89.3	78.0	21	25	75.0	61.0
	院 留 年	4	6	2	3	50.0	50.0	2	3	50.0	50.0
	計	480	385	435	358	90.6	93.0	411	332	85.6	86.2
経 済 学 部	1 回 生	209	133	200	133	95.7	100.0	201	131	96.2	98.5
	2 回 生	209	127	123	74	58.9	58.3	51	17	24.4	13.4
	3 回 生	221	132	148	104	67.0	78.8	93	47	42.1	35.6
	4 回 生	233	117	192	105	82.4	89.7	149	82	63.9	70.1
	留 年 生	56	10	16	6	28.6	60.0	9	6	16.1	60.0
	大学院生	37	37	28	36	75.7	97.3	24	25	64.9	67.6
	院 留 年	5	5	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
	計	970	561	707	458	72.9	81.6	527	308	54.3	54.9
シ ス テ ム 工 学 部	1 回 生	259	48	253	47	97.7	97.9	246	47	95.0	97.9
	2 回 生	228	63	131	36	57.5	57.1	51	12	22.4	19.0
	3 回 生	248	69	164	58	66.1	84.1	77	21	31.0	30.4
	4 回 生	264	53	190	51	72.0	96.2	148	32	56.1	60.4
	留 年 生	64	11	33	2	51.6	18.2	22	2	34.4	18.2
	大学院生	245	32	215	31	87.8	96.9	187	25	76.3	78.1
	院 留 年	14	2	6	0	42.9	0.0	5	0	35.7	0.0
	計	1322	278	992	225	75.0	80.9	736	139	55.7	50.0
観 光 学 部	1 回 生	29	87	27	84	93.1	96.6	27	85	93.1	97.7
	2 回 生	31	86	14	67	45.2	77.9	11	32	35.5	37.2
	3 回 生	41	83	29	69	70.7	83.1	19	28	46.3	33.7
	4 回 生	39	76	31	65	79.5	85.5	23	48	59.0	63.2
	留 年 生	7	9	3	4	42.9	44.4	1	1	14.3	11.1
	大学院生	18	16	9	11	50.0	68.8	9	8	50.0	50.0
	院 留 年	0	0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
	計	165	357	113	300	68.5	84.0	90	202	54.5	56.6
総 計	2937	1581	2247	1341	76.5	84.8	1764	981	60.1	62.0	

平成28年度（2016年度）

学部	学 年	学 生 数		受 診 数		受 診 率		X線受検数		X線受検率	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
教 育 学 部	1 回 生	98	79	98	79	100.0	100.0	96	79	98.0	100.0
	2 回 生	96	71	86	69	89.6	97.2	82	68	85.4	95.8
	3 回 生	101	90	92	87	91.1	96.7	91	85	90.1	94.4
	4 回 生	107	82	98	70	91.6	85.4	91	66	85.0	80.5
	留 年 生	29	7	6	5	20.7	71.4	6	4	20.7	57.1
	大学院生	45	33	45	29	100.0	87.9	41	25	91.1	75.8
	院 留 年	4	3	0	1	0.0	33.3	0	1	0.0	33.3
	計	480	365	425	340	88.5	93.2	407	328	84.8	89.9
経 済 学 部	1 回 生	187	132	177	128	94.7	97.0	178	127	95.2	96.2
	2 回 生	209	133	136	92	65.1	69.2	78	24	37.3	18.0
	3 回 生	216	129	134	105	62.0	81.4	85	70	39.4	54.3
	4 回 生	221	132	180	112	81.4	84.8	139	86	62.9	65.2
	留 年 生	65	13	23	4	35.4	30.8	18	3	27.7	23.1
	大学院生	37	28	31	23	83.8	82.1	31	20	83.8	71.4
	院 留 年	5	1	1	0	20.0	0.0	1	0	20.0	0.0
	計	940	568	682	464	72.6	81.7	530	330	56.4	58.1
シ ス テ ム 工 学 部	1 回 生	254	61	243	61	95.7	100.0	240	61	94.5	100.0
	2 回 生	258	47	162	27	62.8	57.4	81	11	31.4	23.4
	3 回 生	240	67	155	59	64.6	88.1	99	40	41.3	59.7
	4 回 生	245	66	178	58	72.7	87.9	113	30	46.1	45.5
	留 年 生	69	7	25	4	36.2	57.1	21	3	30.4	42.9
	大学院生	248	36	212	31	85.5	86.1	198	26	79.8	72.2
	院 留 年	16	3	7	2	43.8	66.7	7	2	43.8	66.7
	計	1330	287	982	242	73.8	84.3	759	173	57.1	60.3
観 光 学 部	1 回 生	40	87	39	87	97.5	100.0	40	87	100.0	100.0
	2 回 生	29	87	21	50	72.4	57.5	10	17	34.5	19.5
	3 回 生	31	86	20	61	64.5	70.9	14	38	45.2	44.2
	4 回 生	39	82	22	68	56.4	82.9	18	60	46.2	73.2
	留 年 生	9	9	2	5	22.2	55.6	2	5	22.2	55.6
	大学院生	24	23	16	15	66.7	65.2	12	12	50.0	52.2
	院 留 年	0	0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
	計	172	374	120	286	69.8	76.5	96	219	55.8	58.6
総 計	2922	1594	2209	1332	75.6	83.6	1792	1050	61.3	65.9	

2) 教職員定期健康診断

平成27年度（2015年度）

教職員定期健康診断受診率

対象者合計	総受診者		身長・体重		尿検査		血 圧		血液検査		聴力検査		胸部X線検査		心電図検査	
	受診者	受診率	受診者	受診率	受診者	受診率	受診者	受診率	受診者	受診率	受診者	受診率	受診者	受診率	受診者	受診率
687	449	65.4%	448	65.2%	441	64.2%	448	65.2%	418	60.8%	448	65.2%	425	61.9%	294	42.8%

尿検査（糖）	受診者	441	(有所見率)
	有所見者	44	10.0%
血 圧	受診者	448	(有所見率)
	有所見者	132	29.5%
血液検査（貧血）	受診者	418	(有所見率)
	有所見者	22	5.3%
血液検査（肝機能）	受診者	418	(有所見率)
	有所見者	87	20.8%
血液検査（血中脂質）	受診者	418	(有所見率)
	有所見者	258	61.7%

血液検査（糖）	受診者	418	(有所見率)
	有所見者	12	2.9%
聴力検査	受診者	448	(有所見率)
	有所見者	43	9.6%
胸部X線検査	受診者	425	(有所見率)
	有所見者	2	0.5%
心電図検査	受診者	301	(有所見率)
	有所見者	14	4.7%

定期健康診断・人間ドック検診・雇用時健診 判定

	受診者	指導区分	人 数
定期健康診断	449	D3	147
		D2	161
		C1	133
		判定保留	8
人間ドック検診	69	D3	12
		D2	34
		C1	20
		判定保留	3
雇用時健診	29	D3	17
		D2	8
		C1	4
		判定保留	0
未 検			140

定期健康診断・人間ドック検診・雇用時健診 受診状況

判 定	大学教職員	大学非常勤職員	附属・小中	附属・特	合 計
D3	98	34	28	16	176
D2	131	34	27	11	203
C1	110	22	14	11	157
判定保留	5	0	6	0	11
受診者合計	344	90	75	38	547
受診率	77.5%	75.6%	90.4%	92.7%	79.6%

平成28年度（2016年度）

教職員定期健康診断受診率

対象者合計	総受診者		身長・体重		尿検査		血 圧		血液検査		聴力検査		胸部X線検査		心電図検査	
	受診者	受診率	受診者	受診率	受診者	受診率	受診者	受診率	受診者	受診率	受診者	受診率	受診者	受診率	受診者	受診率
728	487	66.9%	487	66.9%	451	62.0%	487	66.9%	456	62.6%	486	66.8%	477	65.5%	340	46.7%

尿検査（糖）	受診者	451	(有所見率)
	有所見者	16	3.5%
血 圧	受診者	487	(有所見率)
	有所見者	155	31.8%
血液検査（貧血）	受診者	456	(有所見率)
	有所見者	38	8.3%
血液検査（肝機能）	受診者	456	(有所見率)
	有所見者	103	22.6%
血液検査（血中脂質）	受診者	456	(有所見率)
	有所見者	296	64.9%

血液検査（糖）	受診者	456	(有所見率)
	有所見者	16	3.5%
聴力検査	受診者	486	(有所見率)
	有所見者	42	8.6%
胸部X線検査	受診者	477	(有所見率)
	有所見者	5	1.0%
心電図検査	受診者	340	(有所見率)
	有所見者	19	5.6%

定期健康診断・人間ドック検診・雇用時健診 判定

	受診者	指導区分	人 数
定期健康診断	487	D3	154
		D2	175
		C1	155
		判定保留	3
人間ドック検診	106	D3	23
		D2	23
		C2	20
		C1	33
		判定保留	0
雇用時健診	43	D3	15
		D2	7
		C2	5
		C1	4
		判定保留	0
未 検			111

定期健康診断・人間ドック検診・雇用時健診 受診状況

判 定	大学教職員	大学非常勤職員	附属・小中	附属・特	合 計
D3	113	42	26	11	192
D2	140	23	29	13	205
C2	20	0	1	4	25
C1	138	27	17	10	192
判定保留	3	0	0	0	3
受診者合計	414	92	73	38	617
受診率	88.8%	68.7%	88.0%	84.4%	84.8%

3) 特定有害業務検診

平成27年度(2015年度)前期	対象者	受診者	指導区分	備	考
教育学部	1	1	D3: 1		
システム工学部4回生	39	39	D3: 35		
			D2: 3	肝機能異常3	
			C1: 1	貧血	
システム工学研究科	49	48	D3: 40		
			D2: 6	肝機能異常4、蛋白尿1、腎移植後経過観察1	
			C1: 1	肝機能異常	
			判定保留: 1	尿再検査	
教職員	25	25	D3: 21		
			D2: 3	肝機能異常2、白血球増多1	
			C1: 1	肝機能異常	

平成27年度(2015年度)後期	対象者	受診者	指導区分	備	考
システム工学部3回生	39	36	D3: 33		
			D2: 2	肝機能異常1、貧血1	
			C1: 1	肝機能異常	
システム工学部4回生	48	43	D3: 37		
			D2: 4	肝機能異常3、白血球減少1	
			C1: 2	肝機能異常2	
システム工学研究科	42	42	D3: 31		
			D2: 10	肝機能異常6、血尿2、蛋白尿1、白血球減少症1	
			C1: 1	血尿	
教職員	24	24	D3: 19		
			D2: 2	肝機能異常2、高尿酸血症1	
			C1: 3	肝機能異常3	

平成28年度(2016年度)前期	対象者	受診者	指導区分	備	考
教育学部	2	2	D3: 2		
システム工学部4回生	57	50	D3: 41		
			C1: 7	肝機能異常5、貧血2	
			判定保留: 2	診察未	
システム工学研究科	48	46	D3: 41		
			D2: 1	白血球減少症	
			C1: 4	肝機能異常3、血尿1	
教職員	25	25	D3: 23		
			D2: 1	白血球増多症	
			C1: 1	肝機能異常	

平成28年度(2016年度)後期	対象者	受診者	指導区分	備考
教育学部	1	1	C1: 1	血尿
システム工学部3回生	32	29	D3: 24	
			D2: 3	肝機能異常2、血尿1
			C1: 2	肝機能異常1、貧血1
システム工学部4回生	47	45	D3: 39	
			D2: 3	肝機能異常3
			C1: 3	肝機能異常3
システム工学研究科	47	46	D3: 36	
			D2: 4	肝機能異常4
			C1: 6	肝機能異常2、血尿2、白血球減少症1、白血球・血小板減少症1
教職員	24	24	D3: 17	
			D2: 3	肝機能異常1、頻脈1、腰痛1
			C1: 4	肝機能異常3、慢性腎炎1

4) VDT検診

平成27年度(2015年度)	受診者	眼科診察所見	眼科判定	指導区分
教員	6	異常なし	A: 1	D3: 6
		著変なし	B: 5	
事務系職員	34	異常なし	A: 6	D3: 6
		著変なし	B: 21	D3: 21
		近視・遠視・老眼	C: 5	D2: 5
		両近視性乱視・遠視・緑内障疑い	E: 2	D2: 1 C1: 1

平成28年度(2016年度)	受診者	眼科診察所見	眼科判定	指導区分
教員	9	異常なし	A: 1	D3: 1
		著変なし	B: 6	D3: 6
		近視、老眼	C: 2	D2: 2
事務系職員	26	異常なし	A: 1	D3: 1
		著変なし	B: 21	D3: 21
		近視	C: 1	D2: 1
		近視、白内障	D: 2	D2: 2
		両近視性乱視・遠視・緑内障疑い	E: 1	C1: 1

眼科判定 (A: 異常なし B: 差し支えなし C: 要注意 D: 要観察 E: 要受診)

指導区分 (D: 健康 C: 要注意)

V. 利用状況

1) 身体保健部門

平成27年度 (2015年度)		教育	教育 院	経済	経済 院	システ ム工	システム 工学研究科	観光	観光 院	留学生	教職員	外部	合計
診 察 ・ 処 置 ・ 投 薬	呼 吸 器 系	19	0	25	1	15	6	18	1	3	43	0	131
	消 化 器 系	5	0	11	1	3	2	2	0	3	9	0	36
	外科・整形外科	30	2	45	1	23	6	17	2	4	17	4	151
	耳 鼻 咽 喉 系	0	0	3	0	1	0	1	0	1	3	1	10
	眼 科 系	3	0	2	0	1	0	0	0	2	3	0	11
	皮 膚 科 系	5	0	3	0	2	2	1	0	0	4	0	17
	産 婦 人 科 系	7	0	1	0	1	0	5	0	0	1	0	15
	歯科・口腔外科系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	メ ン タ ル	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	そ の 他	6	0	4	0	2	0	0	1	1	3	1	18
相 談 ・ 面 談	1	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	5
紹 介	3	0	4	0	0	1	2	0	1	11	3	25	
定期外健診・証明書発行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
静 養	6	0	12	0	7	1	7	0	0	5	1	39	
報 告	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合 計	86	2	113	3	55	18	54	4	15	99	10	459	

平成28年度 (2016年度)		教育	教育 院	経済	経済 院	システ ム工	システム 工学研究科	観光	観光 院	留学生	教職員	外部	合計
診 察 ・ 処 置 ・ 投 薬	呼 吸 器 系	6	0	12	1	9	2	8	0	8	40	0	86
	消 化 器 系	7	0	7	0	5	0	0	0	0	6	0	25
	外科・整形外科	29	1	36	2	32	4	17	5	4	11	1	142
	耳 鼻 咽 喉 系	3	0	2	0	3	0	2	0	0	1	0	11
	眼 科 系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3
	皮 膚 科 系	2	0	2	0	5	1	4	1	0	5	0	20
	産 婦 人 科 系	6	0	2	0	0	0	4	0	0	0	0	12
	歯科・口腔外科系	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2
	メ ン タ ル	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	そ の 他	0	0	2	0	0	0	1	1	0	14	1	19
相 談 ・ 面 談	1	0	1	0	1	0	1	0	0	2	0	6	
紹 介	3	0	2	0	3	0	2	1	0	0	0	11	
定期外健診・証明書発行	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	3	
静 養	10	0	4	0	9	0	4	0	0	0	0	27	
報 告	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	
合 計	69	1	71	3	67	7	46	9	12	83	2	370	

2) 精神保健部門

平成27年度 (2015年度)	教育		経済		システム工		システム 工学研究科		観光		教職員		外部		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
電話・メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
家族	1	0	0	1	12	1	2	0	0	0	0	0	0	0	17
教員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保健師相談	0	6	5	12	18	1	0	1	0	1	0	0	3	0	47
精神療法	40	30	45	24	108	9	20	2	6	6	15	8	2	0	315
投薬	5	6	0	4	9	2	1	0	0	0	10	6	0	0	43
カウンセリング	17	12	15	32	5	36	0	0	0	0	0	0	0	0	117
集団療法	2	0	24	0	57	0	30	0	0	0	0	0	3	0	116
専門医紹介	1	3	2	1	4	1	1	0	1	0	0	0	0	0	14
その他	0	1	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	4
合計	66	58	91	74	213	50	56	3	7	8	25	14	8	0	673

平成28年度 (2016年度)	教育		経済		システム工		システム 工学研究科		観光		教職員		外部		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
電話・メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
家族	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3
教員	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
保健師・看護師相談	6	3	1	1	6	0	0	1	3	1	0	6	1	0	29
精神療法	26	22	50	0	14	11	5	0	0	5	1	3	0	0	137
投薬	3	2	28	0	63	1	0	0	0	2	3	8	0	0	110
カウンセリング	25	46	30	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	112
集団療法	0	0	12	10	29	0	3	0	0	0	0	0	12	1	67
専門医紹介	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	5
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	64	74	121	11	117	23	8	1	4	8	5	17	13	1	467

Ⅵ. スタッフ名簿・スタッフの声

1) スタッフ名簿

保健センター・スタッフ名簿

(平成28年度および平成29年度)

センター長（教授・産業医・内科）	別 所 寛 人
副センター長（准教授・精神科）	山 本 朗
看護師	池 田 温 子
保健師	西 谷 崇
臨床心理士（非常勤）	深 谷 薫
カウンセラー（非常勤）平成29年4月～	鈴 木 章 子
臨床心理士（非常勤）～平成29年3月	岸 本 久美子
臨床心理士（非常勤）～平成29年3月	森 崎 雅 好
臨床心理士（非常勤）～平成29年3月	山 本 大 輔

2) スタッフの声

社会福祉士の資格をとりました

保健師 西谷 崇

前回の年報から早いものでもう2年が経ちました。この2年間で、自身にとっての大きな変化は社会福祉士国家試験に合格したことかなと思います（平成29年1月に実施された第29回社会福祉士国家試験に合格しました）。

看護系大学を卒業後、これまで「医療」「保健」の視点を持ち、保健師として働いてきました。和歌山大学では学生さんや教職員の皆様の体や心の困り事へのサポートに携わり、より質の高いサポートの提供とは何かを考えながら日々関わってきました。その日々の関わりの中では、発達障害や精神障害といった障害をもつ学生さんとも関わる機会が多々あり、医療や保健の専門性をさらに深める必要性を意識するとともに、その枠に捉われない視点や支援の必要性も感じていました。平成28年4月より合理的配慮規定等の施行にむけて学内に障害学生支援部門が立ち上がり、連携したサポートを積み重ねていくうちに、その気持ちがさらに強まりました。これからは医療系とは違う社会福祉という「福祉」の視点も加えた幅広い視点を持ったサポートを提供できたらと思っています。

大学はこれまでの小中高の学校とは違い、授業選択の一つをとっても自由度が広がり、またその学び方も大きく変化し、その変化に戸惑いや課題を抱えることが多いかもしれません。また発達段階においてもこの時期は「青年期」という自己確立という課題を抱え、悩みにふける時期です。何か困り事や悩み事があれば、ぜひ一度立ち寄ってください。一緒に解決していきましょう。

「信念」

臨床心理士 深谷 薫

和歌山大学に通勤する途中、季節ごとに変化するダイナミックな木々が目に入ってきます。それを眺めながら、邪念を昇華し、降り注ぐパワーを浴びながら坂を登りきる日々が、あっという間に4年過ぎました。

最近、思うことは、学生からの主訴や表現方法は異なりますが、「私は、このままで良い？」「私は、この世の中に受け入れてもらえる？」「私は、誰かに認めてもらえる？」「私の居場所は、どこ？」「私は、この私を受け入れて良いの？」というような問いかけであるように思います。今まで生きてきた過程で手に入れてきた信念を頼りに、その問いかけの謎解きをしようとしているような感覚が伝わってきます。しかし、その信念が、過去の屈曲した埋め込みであったり、意図のズレた感覚だけでインプットしたことであったり、非常事態時に編み込まれたものであったりと、非合理的な信念が多いように感じます。そのことに気づかず、「～べきである」「～でなければいけない」ということに捉われ振り回されがちです。その状況を自身で、気づくことは、とても難しいです。なぜならば、非合理的な信念であっても、それこそが今の自分を律して来られた大きな存在であることは事実だからです。その存在を大切にしながらも、的確な状況判断や受け止め方ができるように、多角的に視野を広げ、想いを整理し、確かな情報を伝え、新たな合理的で適応的な信念を自然に浸透し組み込んでいけるようなカウンセリングが必要であると感じております。それを寄り添いながら、丁寧に進めていける臨床心理士でありたいです。

保健センターという場所と私

カウンセラー 鈴木 章子

今年度から保健センターで勤務をしています。4月からのごく短い間ではありますが、和歌山大学保健センターという場所が、職員や学生の皆さんにとっていかにwelcomingな場所かということを感じています。ちょっと保健センターに寄って話をしようと思わせるような温かみのある空気は、保健センタースタッフの愛情深い気配りと思いやりで成り立っているのだろうと思うと同時に、私もその一員として同じように職員や学生の皆さんに接したいものだと思います。

仕事では、保健センターで働かなければ出会うことがなかっただろう学生たちとの出会いを通して、カウンセリングという仕事の深さ、難しさと面白さを感じています。カウンセリングというのは人対人の対話であるという大前提から逸れることなく、またカウンセリングを行う上で避けては通れない自分自身との対話から逃げることなく、面接に来てくれる人の気持ちから離れることなく、地道にその人と向き合っていきたいです。

自分らしいスローライフを目指して

看護師 池田 温子

先日、中学校の同窓会に出席する為、帰郷しました。卒業以来会っていない人も多く、外見は様変わりしたものの、話す楽しい思い出話で盛り上がりました。

還暦を過ぎても、何らかの仕事をしている人が多いようでしたが、仕事の話をして口にする人もなく、ひたすら級友との再会を喜ぶ、おだやかな時間でした。久しぶりの同窓会は、故郷の温かみも感じながら、旧友の大切さを実感する機会となりました。

仕事で知り合った人脈も大切ですが、同じ郷里や、学校の中で培われた人脈の力には底力を感じます。お互いに長所や短所も分かっているので、地に足がついた安心感です。

これを機に、これからのライフスタイルには、つきあいたい友だちとの時間を楽しみ、親戚の皆に会う機会も持ちながら、心温まる交流ができればと期待しています。

日々の生活では、常に感動する心を忘れず、今まで見過ごしてきたものをゆっくり、ゆったり味わいながら、自分らしいスローライフを目指したいと思います。

善い10年後を目指す～子ども・若者たちの幸せを祈って～

准教授（精神科医） 山本 朗

2020年に東京で開催される夏季オリンピックは、2024年はパリ、2028年はロサンゼルスで開催される予定です。ロサンゼルスで夏季オリンピックが開催されるのは3回目で、前は1984年でした。当時は東西冷戦下であったこともあり、ソ連や東ドイツなどの東側国家が参加をボイコットし、世界の祭典とならなかったのは残念なことでしたが、当時小学生だった私はテレビで大会を興奮して観たものでした。ちなみに日本では、グリコ・森永事件が発生したのがこの1984年になります。

1990年代初めにバブル崩壊を迎えた日本ですが、1994年には子どもの権利条約を批准しています。この条約の採択から批准まで5年かかり、158番目の批准国となったことは勿論誇れることではありません。しかしながら、この条約で示されるように、子ども自身が権利を行使する主体となることを基礎として、子どもの成長発達のために必要とされる保護や援助を保障することを私たち社会は誓っています。したがって、子どもの権利を最大限尊重するという理念を持つ私たち大人が、少しずつで

も善い社会に出来るように、努力する必要があります。多様性と向き合いながら、社会全体が力を合わせて手を尽くす必要があります。「何で、こんな国に生んだんや！」と子ども・若者たちに言われてはいけません。今から10年後の2028年の子ども・若者たちが幸せであることを祈るばかりです。

ご縁あって6年間勤めた和歌山大学保健センターを2018年3月末で退職することになりました。在任中は至らぬことも多かったとは思いますが、私なりに若者の支援に力を注いできました。今後は地域で児童精神科外来を担当し、子ども・若者とその家族のために医師として尽力する所存です。保健センター在任中、力不足の私を何度も指導くださった別所寛人センター長にお礼申し上げます。また、多大なサポートをくださった多くの大学スタッフにも感謝申し上げます。

Ⅶ. 規 則

和歌山大学クロスカル教育機構保健センター規則

制 定 平成16年 4月 1日
法人和歌山大学規程第 69 号
最終改正 平成29年 3月24日

(趣旨)

第1条 この規則は、和歌山大学クロスカル教育機構保健センター（以下「センター」という。）の組織及び運営に関し、必要な事項を定める。

(目的)

第2条 センターは、保健管理に関する専門的業務を統一的に行い、和歌山大学（以下「本学」という。）における学生及び職員の心身の健康の保持増進を図ることを目的とする。

(業務)

第3条 センターは、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 保健管理に関する実施計画の企画，立案
- (2) 定期及び臨時の健康診断とその事後措置
- (3) 入学者選抜時の健康診断
- (4) 健康相談
- (5) 精神衛生相談及び助言
- (6) 環境衛生及び伝染病の予防に関する指導
- (7) 救急措置
- (8) 保健管理に関する調査研究
- (9) その他保健管理に関する専門的業務

第4条 削除

第5条 削除

(職員)

第6条 センターは、次の各号に掲げる構成員をもって組織する。

- (1) センター長
- (2) 副センター長
- (3) 専任教員
- (4) 看護師
- (5) その他の職員

2 センターは、学校医を委嘱し、配置する。

(センター長等)

第7条 センター長及び副センター長は、本学の専任教員の中から、役員会の議を経て、学長が任命する。

2 センター長及び副センター長の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、センター長又は副センター長に欠員を生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(専任教員)

第8条 専任教員は、センターの専門的業務を処理する。

(職員の職務)

第9条 センターの専任教員は、医師及びカウンセラーをもって充てる。

2 専任教員及び学校医は、保健管理に関する専門的業務を行う。

(運営委員会)

第10条 センターには、必要に応じて運営委員会を置く。

2 運営委員会に関する事項は、センター長が別に定める。

(事務)

第11条 センターの事務は、学生支援課において処理する。

附 則

1 この規則は、平成16年4月1日から施行する。

2 この規則施行後における所長は、任期途中の者にあつては施行日前日の者とし、その任期は、平成17年3月31日までとする。

附 則 (平成22年6月25日一部改正：法人和歌山大学規程第1122号)

この改正規則は、平成22年7月1日から施行する。

附 則 (平成24年3月30日一部改正：法人和歌山大学規程第1310号)

1 この改正規則は、平成24年4月1日から施行する。

2 この規則施行後に最初に任命される副所長の任期は、平成25年3月31日までとする。

附 則 (平成26年3月28日一部改正：法人和歌山大学規程第1511号)

この改正規則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則 (平成26年9月10日一部改正：法人和歌山大学規程第1556号)

この改正規則は、平成26年9月10日から施行し、平成26年4月1日から適用する。

附 則 (平成29年3月24日一部改正：法人和歌山大学規程第1963号)

この改正規則は、平成29年4月1日から施行する。